

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すばる		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校から高等学校卒業までの長期間支援を行うため、お子様のご様子をより細かく把握することができ、より適切な支援の提供に結びつけることができること。	移行支援として特に「就労へのサポート」を積極的に行っている。具体的には、就労先の情報収集に関するアドバイス、面接練習、履歴書の書き方指導等をマンツーマンで行っている。	よりお子様に合った就労先情報の提供を実現するために、地域資源の把握(就労先を選択肢として提示できる数を増やす)、就労支援を行っている事業所との連携の模索を行う。
2	お子様一人ひとりに合った専門性のある心理的支援を提供していること。	標準化されたアセスメントツール(wisc-V)を用いてアセスメントを実施し、その結果を基にして専門的な支援を提供するようにしている。	他のアセスメントツール(STRAW-R等)の導入を検討しており、複数のアセスメント結果を基により適切な支援の提供に結び付けたい。
3	発達性ディスレクシアの子どもへ向けた読み書き支援を行っている。	その子どもに合った読み書きの支援を個別で行い、困難さや負担を軽減できるよう取り組んでいる。	今後も継続的に職員研修等を通して、発達性ディスレクシアや読み書き支援についての知識を全体で把握し支援へと繋げていきたい。
4	ソーシャルスキルトレーニングを行っていること。	毎回の利用にソーシャルスキルトレーニングの時間を設けており、集団活動の中で社会性やコミュニケーション力等を身につける練習を行っている。	内容がマンネリ化しないよう工夫し、より専門性の高い内容にしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上に資するペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの提供ができていないこと。	ペアレント・トレーニングを提供できるための人材育成が不十分であることに加え、ペアレント・トレーニングを提供する機会がない。	職員がペアレント・トレーニングを実施するための知識を深め、同トレーニングを実施するための体制づくりを行う。また、保護者様へ向けてペアレント・トレーニングを実施することができる旨を周知することで、同トレーニングの提供機会を増やす。
2	業務改善に資する第三者による外部評価を行っていないこと。	第三者機関に外部評価を依頼するためのコスト負担が難しい。	外部評価の導入は現状難しいが、系列事業所の「すばる3」の職員による業務評価を行うことはできる。そのため、系列事業所同士の相互評価を実施し、業務改善に繋げる取組みを実施したい。